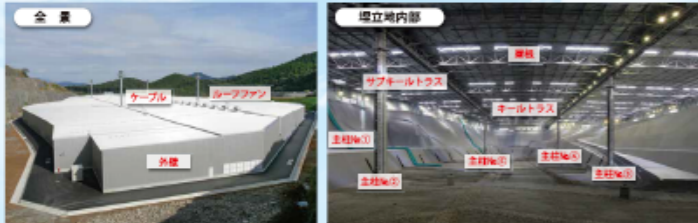


最新技術を導入した安全性の高い施設整備

覆蓋施設について

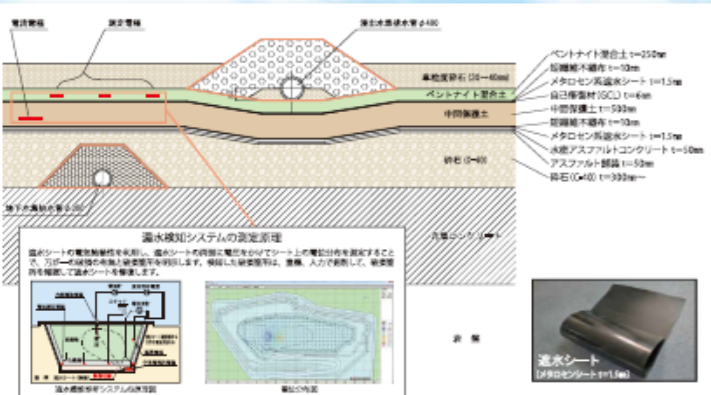
- ① 施設構造について
- ・建築基準法に基づいて、構造解析を行い、耐震性を確保しています。
 - ・屋根はガルバリウム鋼板を使用し、キールトラスの延長は最大 327m、幅 176m で屋根面積は観音東京ドームと同程度の大きさです。
 - ・埋立地内の 5 本の主柱は、直径 1.2m のコンクリート充填鋼管構造で、その外径を直径 1.5m のコルゲート管で保護し、作業によるシート損傷等を防止するとともに、浸出水が集まりやすい範囲には配置しないこととしています。
- ② 効果について
- ・埋立地内への雨水の流入や粉じん・臭気の高さへの飛散及び拡散を防止します。
 - ・天候に左右されないで、計画的な散水により廃棄物の早期安定化が図れます。
 - ・埋立地内にある 5 本の主柱の間隔は、最小 61.5m、最大 139.5m あり、廃棄物を埋め立てる作業がしやすい空間を確保しています。

覆蓋施設

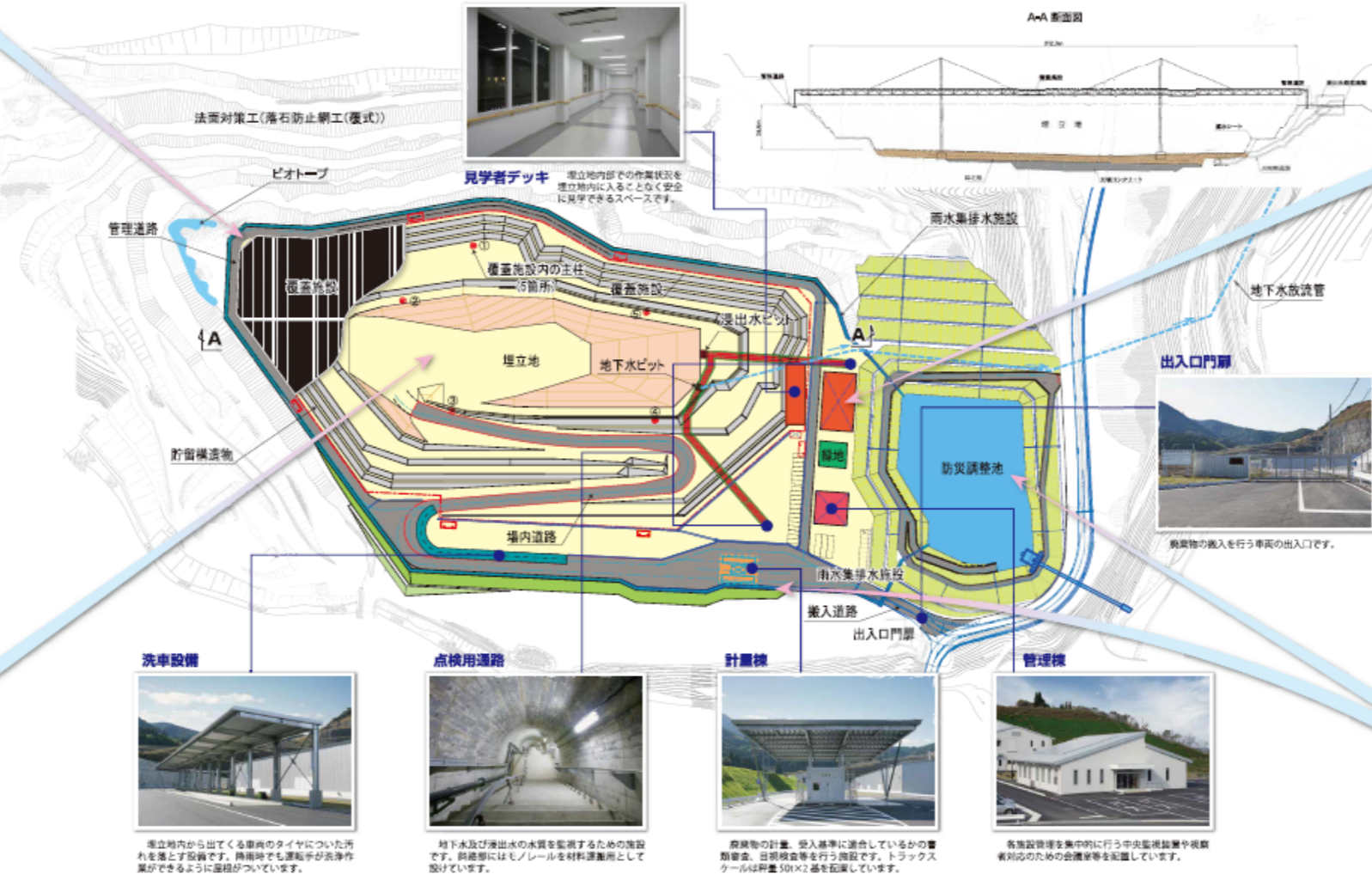


遮水工（底面部）構造について

遮水工については、基本設計で定めた 2 重の遮水シート及び水密アスファルトコンクリートに加え、遮水シートの保護材にペントナイト混合土を用いた難透水層を採用することにより、遮水シートの保護とともに多量の遮水機能を備えた構造となっています。

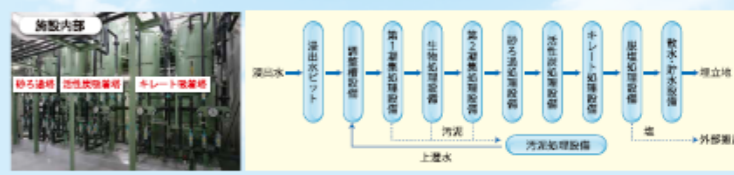


公共関与による安心・安全なクローズドシステム産業廃棄物管理型最終処分場です

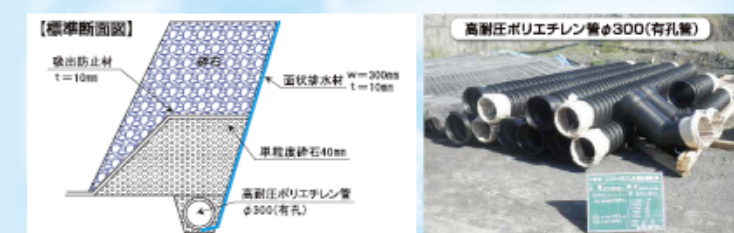


浸出水処理施設について

- 浸出水処理施設
- ・廃棄物に触れた浸出水に含まれる汚濁物質を除去し、浸出水による環境への影響を防止します。
 - ・処理水は、河川へ放流せず、処分場内の散水に循環利用します。
 - ・浸出水処理施設の能力は、浸出水の水量及び水質を対象にして設定しています。
- 【用語解説】
- 凝集処理……凝集剤により、浸出水のカリウム、浮遊物質、COD を除去します。
 - 生物処理……微生物の働きにより、BOD、窒素を除去します。
 - キレート処理……キレート剤により、重金属を除去します。
 - 脱塩処理……電気透析により、処理水中の塩を除去します。



地下水・雨水集排水施設について



- ・これまでの処分場では、集排水にポリエチレン管が採用されていましたが、本処分場では、強度の高い高耐圧ポリエチレン管を採用しています。
- ・埋立地で発生する地下水・湧水が滞留しないよう、直径 300mm の管を敷設し、集排水します。
- ・高耐圧ポリエチレン管の周囲に砕石を敷設し、管を外圧から保護しています。これは、管の有孔部の目詰り防止にも役立ちます。

雨水集排水施設・防災調整池について



洗車設備

埋立地内から出ている車両のタイヤについた汚れを落とす設備です。降雨時でも運転手が洗浄作業ができるように屋根が設置されています。

点検用通路

地下水及び浸出水の水質を監視するための施設です。監視室にはモニターを材料運搬用として設けています。

計量棟

廃棄物の計量、受入基準に適合しているかの書類審査、目視検査等を行う施設です。トラックケールは容量 50t×2 基を配置しています。

管理棟

各施設管理を集中して行う中央監視室や視察者対応のための会議室等を設置しています。